

CONTENTS

地域発NEWS .....	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介 .....	5~6
特集コーナー .....	7
使える! 行政情報& .....	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人 .....	9
東北森林管理局の管内で .....	10
予定されているイベント情報	
新任者・退任者挨拶	



山形県遊佐町から鶴岡市まで約34km続く海岸林は、江戸時代から様々な人たちが植栽を続け、そのほとんどが飛砂防備保安林に指定され、庄内地域の人々の生活や農業を守っています。

湯野浜の海岸林(山形県遊佐町~酒田市~鶴岡市) [提供:庄内森林管理署]

## 地域とともに世代を超えた森林管理

### 山形森林管理署

国有林の管理経営は、地域のご意見を聴きながら森林計画を作成して進めています。

当署が管理経営する蔵王の国有林では、冬になるとオオシラビソ（別名アオモリトドマツ）に風雪が吹き付けてアイスモンスターとも呼ばれる巨大な樹氷が形作られ、地域のシンボルとして貴重な観光資源となっています。



アイスモンスター

そのオオシラビソが、近年、虫害により大面積にわたって枯れ、どのように取り扱っていくべきか、将来的な森林経営を考える中、地域の多くの

方が、樹氷の再生を願って蔵王の国有林に心を寄せてくださり、当署では、地域とともにオオシラビソの森林の再生に向けて取り組んでいます。

母樹が枯れてしまった山頂付近では、山麓から次の世代となる稚樹を移植して生育状況を観察しています。稚樹の移植は3年前から取り組んでおり、今年8月に蔵王で「『山の日』記念全国大会」が開催されたのに併せて、地元の小中学生の参加により実施しました。また昨年、地域の報道機関が開催する県内の小中学生と家族を対象とした森林教室にも取り入れられています。

このような再生活動は、長い年月が必要となり、地域の将来を担う若い世代も含めて展開されることは森林の未来への希望であり、当署も大きな力をいただきながら、よみがえった樹氷が若い人たちに見届けていただけるよう、息の長い森林管理に地道に取り組んでまいります。



子供たちによる稚樹移植

## 地域住民と築く美しい海岸林

### 由利森林管理署

当署では、不法投棄一斉パトロール活動、及び「国民の森林」クリーン月間の取組として、ゴミのクリーンアップ活動を10年以上に渡り実施しています。例年、由利本荘市を拠点として活動している「本荘海岸林を守る会」と共催し、一般社団法人秋田林業土木協会等の協力も得て、国有林内の海岸林及び周辺に不法に投棄されたゴミをクリーンアップしています。

今年は7月20日、総勢29名、コロナ禍で一部閉鎖されている道路もありましたが、水林海岸林、田尻海岸林及び周囲の



回収したゴミ

市道周辺から、約330kgのゴミを回収しました。

これらの海岸林は、海岸からの強風や飛砂の被害を防ぐ保安林でもあり、過去には松くい虫により甚大な被害を受けましたが、クロマツの植栽により復活し、長年に渡って市民生活を守ってきました。



風や砂から生活を守るクロマツの保安林

当署はこれからも関係者の協力を得てクリーンアップ活動を続け、美しい海岸林になるよう啓蒙活動に取り組んでいくと共に、保安林の維持に努め、今後も地域住民の安全と豊かな暮らしを守ってまいります。

## 秘湯を守る ～保安林機能と治山工事～

### 秋田森林管理署湯沢支署

秋田県南東部、栗駒国定公園内に位置する泥湯温泉。開湯1,200年ともいわれる山懐やまみところの秘湯として多くの観光客が訪れている場所ですが、この場所が実は「国有林の麓」ということはご存じでしょうか。

泥湯温泉から見えるこの国有林は、雪崩の原因となる雪庇せつびの発生や、山腹に積もった雪の滑り出しを防ぐことを目的に「なだれ防止保安林」として昭和36年に指定され、泥湯温泉や県道を守る役割を果たしています。

しかし、近年では記録的な豪雪が繰り返し発生しているため、自然の力だけではなく、保安林機能を高めるための治山工事も必要不可欠となりました。

泥湯温泉の裏山の斜面上部については、雪崩の発生を止める防止柵を38基（総延長232.8m）、雪の流下を抑制する予防網を7基（総延長75.0m）、いずれも令和元年までに設置しております。冬期における定期点検や融雪後の現地踏査についても毎年実施し、維持管理の為にメンテナンスや補修工事にも必要に応じて行っています。

大自然に囲まれた名湯、泥湯温泉を影から支えひっそりと山の中で頑張る保安林と防護柵。泥湯温泉を訪れることがありましたら、湯船からそっと思いを馳せてみるのもいかがでしょうか。



温泉施設を守る、なだれ防止保安林と防護柵

## ドローンの活用で林業の低コスト化へ

### 岩手北部森林管理署

当署では、皆伐跡地※に植林し再び森林へと育てる再造林がピークを迎えつつあります。毎年200ha以上発生する皆伐跡地について、順次、植林や樹木の生育を促すための保育作業の事業を発注しており、その年間総面積は900haに迫ります。

そのような状況の中、事業を管理するうえで重要な業務のひとつである完成検査等に、実際に現地へ赴いて調べる踏査による手法に加え、ドローンによる事業地全体の確認を行っております。ドローンの導入により、事業地の境界の確認等が一部省力化されたとともに、事業地の状況を全体的に把握できるほか、記録撮影をすることにより、事業の進捗管理にも活用されています。

また、事業者においても、列状で植林する際に、事前に作業箇所を上空から確認することで、植林する方向や作業手順の進め方が容易に検討できます。現在推進している下刈作業での筋刈を実施する際には、植林した苗木の確認を行えることから、筋刈の方向の決定などに有効な手段として期待され、造林事業の低コスト化の推進に大きな役割を果たします。



ドローンで上坊山国有林の全容を調査

今後もドローンの利用拡大を促し、さらなる有効活用を推進していくとともに、林業の省力化を進め、低コスト化の実現と民有林への普及を図っていきます。

※森林を構成する材木の一定のまとまりを一度に全部伐採した土地のこと。

## 地域に必要とされるセンターを目指して

### 森林技術・支援センター

当センターは、地域で求められる林業技術の開発・普及や林業事業体の行う職員研修へのフィールド提供等を行っております。

今回当センターの所在する中泊町の老人クラブ連合会中里支部より、「昨年2階建てのモダンな建物ができて気になっている。建物について、またどのような仕事をしているのか、紹介してほしい」と要望をいただき、老人クラブの会員に対して、当センターの役割や業務内容等についての説明会を7月29日に実施しました。



所長の説明を熱心に聞き入る参加者

説明会は、センターガイドと当センターの建物の紹介資料をもとに行いました。地元の津軽弁を織り交ぜつつ、当センターの役割、庁舎は青森ヒバをふんだんに使用しているなどの特徴、現在取り組んでいる技術開発課題に加え、森林3次元計測システムルやドローンなどの先端技術の活用、青森ヒバの復元などを紹介いたしました。参加者の皆さんは、3D処理した画像やドローンの映像に特に興味を持たれていたようでした。

これからもこのような機会を積極的に創出し、地域の皆様のご理解・ご協力を賜りながら、当センターの活動を知ってもらおうとともに民有林への技術支援に努めていきます。

## 蔵王の自然を守るために

### 仙台森林管理署

「御釜」で有名な蔵王国定公園では、コマクサ等の貴重な高山植物が見られます。また、これからの季節は樹氷が見頃を迎え、年間をとおして多くの来訪者でにぎわいます。

これらの貴重で美しい景観を是非多くの皆様に楽しんでいただきたいのですが、来訪者の増加に伴い、踏みつけによる植生の衰退などの問題も生じています。そこで、当署では一般から募集した森林保護員（グリーン・サポート・スタッフ（GSS））による巡視活動等を行っています。

御釜展望台や熊野岳周辺は傾斜が緩やかであるためか、歩道を外れて散策される方も多く、高山植物が減少している箇所もあります。GSSは巡視活動のほか、来訪者へのマナー遵守の呼びかけやゴミ拾い、歩道の表示ロープの補修や高山植物の保護看板の補修作業等を行っており、コマクサをはじめとした高山植物は徐々に回復してきています。



外れたロープの簡易補修作業

GSSを見かけましたら、お気軽にお声掛けください。蔵王の魅力や情報等も教えてください。

美しい御釜周辺の景観や貴重な高山植物等を後世に残せるよう、マナーを守って楽しんでください。

## シカを知って森林被害を防ぐ

盛岡森林管理署

当署管内では、近年皆伐跡地などでシカの足跡や食害の痕が多く見られるようになりました。森林総合研究所東北支所の酒井育林技術研究グループ長によれば、「早池峰山から約20km離れた盛岡市南部の現場でもシカが越冬した痕跡が見られる。」とのこと。生息域の拡大が懸念され、森林及び造林木等への被害を防ぐための効果的な防除対策を見出していくことが差し迫った課題となっています。

こうした中、令和4年6月から、森林総合研究所東北支所が、当署の協力の下、皆伐跡地の植生がシカの餌資源としてどれくらい利用されているかを評価し、シカの管理、防除対策に役立てていくための調査研究を開始しました。

盛岡市及び雫石町の2ヶ所の国有林において、皆伐跡地内に各2カ所、隣接するスギ林内に各1カ所ずつ同様の調査区を設け、採餌状況やセンサーカメラによるシカの出現調査などを約3年の期間で進めています。



調査区の状況

この調査を確認、検証しつつ、シカの動態を踏まえた施業方法や防除対策の開発に向けて、引き続き関係機関等と協力しながら取り組み、国有林及び民有林へのシカ被害の防止に努めていきます。

## ICTスマート林業で生産性を向上

三八上北森林管理署

林業従事者は、この50年で約22万人から4.5万人にまで減少しました。そこでICTなどの先端技術を活用したスマート林業を推進することで、労働生産性を向上させ、少ない人数でも作業が出来るよう効率化を進めていくことが重要です。

このような中、当署では、先端技術を地域の事業者の皆さまへ紹介する機会を毎年設けており、今年度はICTハーベスタについて紹介させていただきました。

ハーベスタとは、立木を伐倒し枝を除去、長さを測定して切断、切断した木材を集積する作業を連続して行うことができる機械です。



ハーベスタ

しかし、木材は長さや太さなどにより用途や販売価格が異なるため、切断する長さを決めるには熟練の操縦者による見立てが必要でした。

そこで、ICTハーベスタには、幹の直径や長さを自動的に測定し、木材価格を入力することで最も高く売れる採材プランを選ぶシステムが搭載されています。これにより、操縦者の負担や操作時間の短縮等、効率化が期待できます。

このような先端技術の紹介は、事業者から好評をいただいていますので、今後も地域林業の効率化のため、情報発信を続けていきます。



市場価値の高い長さに切断

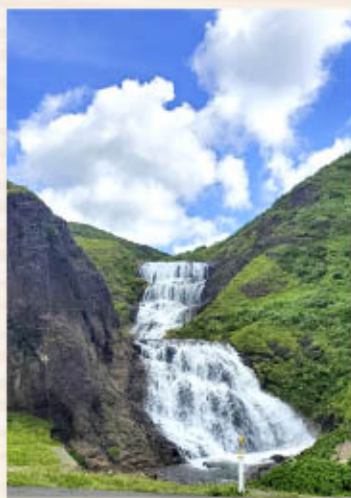
# 国有林野所在市町村の魅力紹介

## 青森県北津軽郡中泊町

津軽森林管理署金木支署

中泊町は、津軽半島の中央部を走る津軽山地の西側に位置し、旧中里町と旧小泊村が平成17年に合併して誕生した町です。中里地域の平野部は稲作を中心とする農業が盛んで、小泊地域は平野部が少なく西側は日本海に面しているため、漁業が盛んな町です。

小泊から竜飛岬をつないでいる国道339号線、通称竜泊ライン沿いには高さ21mの滝があり、7段の岩肌を流れていることから七ツ滝と名づけられたとされています。夏は青い空をバックにキラキラ輝く水しぶきと共に記念写真を撮影するスポットとなっています。



七ツ滝

中泊町の南に位置する五所川原市の津軽五所川原駅から中泊町の中心部までを結ぶ津軽中里駅までは津軽鉄道が走っており、町民には欠かせない存在となっています。夏は涼しげな音色を響かせながら走る「風鈴列車」、初秋は秋の訪れを告げる「鈴虫列車」、冬は車内の暖房も兼ねた「ストーブ列車」で一面銀世界の中をゆっくり進み、



四季折々の風情が楽しめる津軽鉄道

のんびりした旅を味わうことができます。

小泊沖で獲れる高級魚「津軽海峡メバル」を使った中泊メバルの刺身と煮付け膳（愛称：中泊メバル膳）は、メバルの刺身姿盛り、煮付け、潮汁、イカソーメン、ご飯も含め地元の食材にこだわったご当地グルメです。現在8周年を迎え、100,000食を達成した今も愛され続けています。



中泊メバルの刺身と煮付け膳

また、令和3年には地元産トマトを使用したトマト海鮮ラーメン（愛称：トマ鮮ラーメン）がデビューし、トッピング食材も地元産を使用したイカ天かまぼこ、メバルソーセージなど他では味わえない一杯となっています。お土産品も充実しており、メバルの缶詰シリーズ、メバルのアヒージョ「メバージョ」、メバルのシチュー「メバチュー」、メバルのアクアパッツァ「メバパッツァ」、メバルの粉末入り海鮮おかきなど豊富に揃っています。

一度メバルづくしの旅に訪れてはいかがでしょうか。



地元産トマトを使用したトマト海鮮ラーメン

お問合せ先：中泊町水産商工観光課 Tel：0173-57-2111

# 国有林野所在市町村の魅力紹介

## 秋田県北秋田郡上小阿仁村

米代東部森林管理署上小阿仁支署

上小阿仁村は、秋田県のほぼ中央部に位置し、村の中央を「太平山」を源とする小阿仁川が流れる豊かな自然環境や水資源に恵まれた地域です。上小阿仁村の総面積の約94%を占める森林は、天然秋田スギ等の木材資源及び山菜、キノコ等の特産林産物の供給源、重要な水源となっています。



大錠溪谷・萩形溪谷

美しく澄み切ったエメラルドグリーンの大錠溪谷と萩形溪谷は、秋には色とりどりの紅葉と険しい稜線に群立する天然秋田スギとの組み合わせが素晴らしい自然散策スポットとなっており、また、萩形キャンプ場の周辺はイワナ釣りの絶好のポイントです。

古くから「天然秋田スギの里」として広く知られていたこの地域の、「上大内沢自然観察教育林」



上大内沢自然観察教育林

は、樹齢250年以上の天然秋田スギが700本以上群立し、「森の巨木たち100選」のコブ杉や整備された歩道があることから、観光や自然観察会の会場、地域の小中学生の森林環境教育の場として利用されています。

「道の駅かみこあに」は、その日にとれた新鮮な野菜や果実、山菜・キノコなどを取り揃えた産直や名物料理馬肉の煮込みが有名です。お食事処「秋田杉の館」は秋田スギをふんだんに使っており、1番太い柱は樹齢300年の天然秋田スギです。



道の駅かみこあに

また、上小阿仁村の特産品「食用ほおずき」と、ブルーベリーと同じ属科で黒紫色の小さな実の「こはぜ（ナツハゼ）」を使用した加工品が数多くあります。「ほおずき」は爽やかな酸味と甘さ、「こはぜ」は独特の酸味が魅力で、幅広く好評を得ています。上小阿仁村でしか味わえないおいしさを堪能することができます。



お菓子などの特産品

お問合せ先：上小阿仁村産業課 Tel 0186-77-2221

# 朝日山地生態系保護地域 での取組について

朝日庄内森林生態系保全センター

## ●合同パトロール

9月17日(土)及び10月8日(土)に、朝日山地森林生態系保護地域において、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会、環境省羽黒自然保護官事務所、庄内及び置賜森林管理署の関係機関と連携して令和4年度合同パトロールを実施しました。



マナーガイドの配布(日暮沢コース)

秋の紅葉シーズンに当たり、両日ともに天気に恵まれ、パトロール開始時には、一般の登山者も多く駐車場は早くも満杯のコースもありました。特に、

日暮沢口からは、竜門山方面へ向かう方が多く見られ、ハナヌキ峰分岐では、古寺鉱泉方面から登ってくる親子連れや登山グループの方々が自然を満喫しようと大勢の登山客が訪れていました。



古寺山から望む朝日連峰

今年度の合同パトロールにおいては、日暮沢コース・祝瓶山コースとも、ゴミの投棄、高山植物の採掘跡、たき火跡などの異常は見られませんでした。関東圏など遠方からの来訪者もあり、多くの登山者に愛されている朝日山地森林生態系保

護地域を守るため、今後も継続的にパトロールを実施し、ルールやマナーの啓蒙活動を行っていきます。

## ●森林病虫害の監視

朝日山地では、平成23年9月からマツノクロホシハバチによる大朝日岳周辺のハイマツで被害

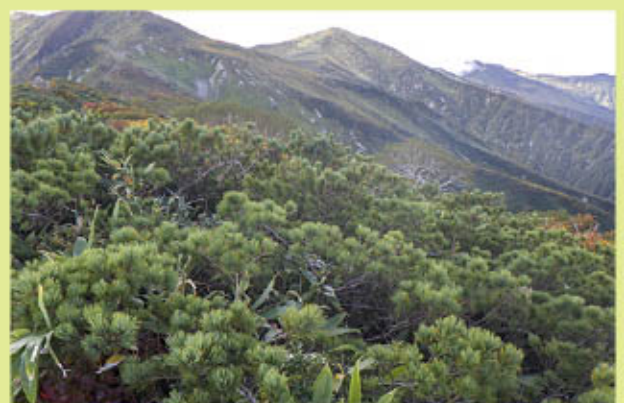


令和3年度被害状況  
(マツノクロホシハバチの幼虫が群棲)

が目立ちはじめ  
ております。過去には、北海道でキタゴヨウの大規模な枯死被害が発生したこともあるため、当センターでは経過を見守りつつ必要な場合は捕殺を行うこととしております。

令和4年度は9月29～30日にかけて、大朝日岳周辺において当センター職員により、食害調査を行いました。

調査は、登山道上のハイマツを丹念に観察し、マツノクロホシハバチの発生の有無を確認しましたが、今回の調査では、マツノクロホシハバチは確認されませんでした。



令和4年度被害状況(無)

今後も、朝日山地の貴重な生態系を保全管理するため、観測を継続していきます。



使える!

## 行政情報&研究・技術の参考情報

### GNSS受信機を活用した 収穫調査の周囲測量

収穫調査は、国有林における立木の販売等に向けて区域や立木の計測・調査を行うものであり、調査の公正性・客観性を担保しつつ効率化・省力化を図っていくことが課題です。GNSS※受信機を用いた区域の実測では、ポケットコンパス等による方法と比較して効率化・省力化が期待できる一方、精度のバラつき（最大10m強）に課題がありました。しかし、2周波以上の電波や測位補強信号を利用することで上空が開放した場所ではサブメータ・センチメータ級の精度をもつGNSS受信機が、比較的安価に利用できるようになりました。これらを立木等の障害物が多い林内において活用可能とするために、精度検証等を進めています。

東北森林管理局では、国有林内において複数機種種のGNSS受信機で周囲測量を実施し、トータルステーションやポケットコンパスの測量結果と比較検証を行いました。その結果、総距離及び面積の誤差は2%程度と実用可能な誤差範囲と考えられました。そこで、各（支）署職員及び指定調査機関に対して講習会を開催し、本検証結果やGNSS受信機の測位方法について説明するとともに、機器操作の実習を行いました。講習会に



検証結果等に関する講習会

よりGNSS受信機を活用した周囲測量の普及を図るとともに、林野庁とも連携して令和5年度から収穫調査における使用開始を目指しています。

※Global Navigation Satellite Systemの略。GPSなど人工衛星からの信号を受信し、現在位置などを記録するシステムのこと。



GNSS受信機の操作実習

ご関心のある方は、東北森林管理局資源活用課  
(TEL:018-836-2123)へお問合せ下さい。

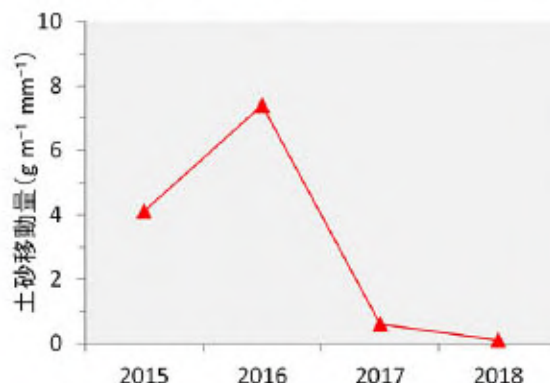
### 「土砂移動量の簡易定量法」

東北地方の国有林においても近年は低コスト化のために林業機械を用いた施業が行われるようになってきました。機械の走行等によりかく乱された斜面では降雨時に土砂流出するといった環境への悪影響が懸念されますが、施業後の土砂移動を調べた事例はそれほど多くありません。そこで今回、山地斜面での土砂移動量を比較的簡便に測定する方法を紹介します。土砂移動量の測定には、「土砂受け箱」という器具を使用します（写真）。大きさは高さ15cm、幅25cm、奥行20cmくらいで、背面（斜面下方向側）にネットが張られており、上からきた土砂を受け止めることができ、その土砂量を移動量とします。



土砂受け箱の外観

観測事例として、北海道の国有林（南富良野町）での結果を紹介します。2015年にトドマツ林を皆伐して機械地掻きを行った斜面に土砂受け箱を設置したところ、地掻き直後から翌2016年までは多くの土砂が移動していましたが、2017年以降は土砂移動量が急激に低下していることが分かりました（グラフ）。このように、簡易な方法でも、機械施業後の土砂流出が続いているか、終息したのかを知ることができますのでぜひ活用して下さい。



皆伐・地掻き後の土砂移動量の経年変化

ご関心のある方は、森林研究・整備機構 森林総合研究所(019-648-3960)までお問合せ下さい。

# 地域のこの人

## 未来へ向かって

秋田県素材生産流通協同組合  
有限会社畠山造林 佐藤 大祐さん

当社は、秋田県大館地区を拠点に、県北の山林を主体に管理し、立木を伐倒して丸太を生産する事業と植付けや下刈、除伐などの造林事業を行っています。

私は、入社して9年目を迎え、現在は主として伐倒作業を行っています。伐倒作業では、安全な作業手順を守り、基本動作を繰り返し行うとともに、危険の要素を確実に排除しながら作業することで、現在まで怪我もなく仕事に励んでおります。

さて、当社でもドローンやGPSなど新しい技術を導入し、特に生産事業や造林事業の着手前の現地確認が容易に行うことができるようになりました。搬出路の作設や伐倒の進め方、作業区域の把握など容易に検討できるようになるなど、多くの作業環境が向上しており、更に今後はドローンによる苗木の運搬や架線のワイヤーのリードロープの運搬も検討しています。このように、「安全でスマートな林業」が着実に実現されていると実感しているとともに、楽しさも同時に感じているところです。

皆さんは林業の仕事には、どのようなイメージをお持ちでしょうか。林業も時代とともに発展しており、先にご紹介した新たな技術や高性能機械の導入など、作業環境が大きく変化しています。皆さんに林業を体験していただいて、興味を持っ

てもらえれば嬉しいです。是非、一緒にこれからの林業業界を更に発展させていきましょう。



伐倒作業の様子

## 国有林を守り育てる最前線・森林官

津軽森林管理署 岩崎・大間越森林事務所  
首席森林官 鈴木 正晃さん

当事務所は青森県の南西部に位置する深浦町岩崎地区にあり、夕日美しい日本海に面した場所にあります。さらにユネスコ世界自然遺産に登録されている白神山地や、津軽国定公園にも指定されている日本キャニオン、青池を含む十二湖など風光明媚な景観を有しており、ワーケーションもできるような環境で森林官の業務を行っています。

深浦町では、十二湖を観光の目玉としており、また2023年には白神山地は世界遺産登録30年目を迎えます。今年8月に豪雨災害に見舞われましたが、多くの観光客や登山客が来て盛りあがって欲しいと感じています。

一方、当地区では森林病虫害が発生しており、ナラ枯れ被害が青森県では当管内において最初に発見され、海岸部で面的に被害が広がっています。このため、県や町と共に、監視、被害木調査、薬剤注入や伐倒燻蒸処理、カシノナガキクイムシを誘引するおとり丸太の設置も行い、その拡大と北上を抑止するため尽力しております。



森林病虫害の調査の様子

このように、観光資源にもなっている国有林を守り育てる自分の仕事が世の中に役立っていると実感することが多く、とてもやりがいを感じます。皆さんも森林を未来へとつなぐ森林官の仕事と一緒にしてみませんか。

12月中旬

だるま市

12月17日(土)  
七日町観音堂境内でだるまや熊手、招き猫など縁起物を販売  
(山形県・鶴岡市)

モヤヒルズスキー場オープン

12月17日(土)  
初心者から上級者までパウダースノーを楽しめます  
(青森県・青森市文化観光振興財団)

烏海高原矢島スキー場オープン

12月17日(土)  
スキー場開き12月15日、極上の雪質をお楽しみください  
(秋田県・烏海高原矢島スキー場)

こどもの森Xマス・トレッキング

12月18日(日)  
冬山登山スタート カモシカの道～岩落山へ  
(青森県・弘前市みどりの協会)

12月下旬

樹氷めぐりツアー

12月24日(土)～3月5日(日)  
雄大な樹氷原を最新鋭の雪上車に搭乗しながら鑑賞  
(宮城県・みやぎ蔵王すみかわスノーパーク)

クリスマスを新雪の網張の森で

12月24日(土)  
ふかふかの雪が降り積もる森をスノーシューハイキング  
(岩手県・網張ビジターセンター)

ねずみくんのチョコ展

～1月9日(月)  
ロングセラー絵本 東北初の大規模展覧会  
(宮城県・石ノ森萬画館)

能代市役所イルミネーション

～2月28日(火)  
市役所本庁舎とさくら庭でイルミネーションを点灯します  
(秋田県・能代市)

1月

初日の出スノーシューハイイク

1月1日(日)  
高戸屋山を登る雪上ハイキングと初日の出を楽しめます  
(山形県・川西町観光協会)

元朝詣り

1月1日(日)  
除夜の鐘と同時に初詣のための参拝者でにぎわいます  
(岩手県・中尊寺、毛越寺)

菜魚湖わかさぎ釣り

1月7日(土)  
大志田ダムの菜魚湖のわかさぎ釣りは初心者も楽しめます  
(岩手県・上馬淵川漁業協同組合)

新春登山

1月8日(日)  
久渡寺山への登り初め  
(青森県・弘前市みどりの協会)

※掲載内容は、新型コロナ感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認ください。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承ください。

新任者・退任者挨拶

新任11月1日付

次長 (青森事務所長)

小島 健太郎

前職：北海道森林管理局計画保全部長



東北局勤務は19年ぶりとなります。東北地方は木材や木炭、漆、きのこの生産、山菜採取などが盛んで、森と人との関係の深さは全国一だと思います。国有林が地域産業の振興、農山村文化の継承等に寄与するよう努めていきたいと考えています。

新任11月1日付

計画課長

松井 章二

前職：大臣官房広報評価課課長補佐(独立行政法人評価)



11月1日付けで計画課長として着任しました。現場は、北海道、四国を経験していますが、東北局は初めてとなります。東北局では、北海道、四国とは違った文化や景観を楽しみながら、公私ともに充実した時間を過ごしたいと思います。

退任(退職)10月31日付

前次長 (青森事務所長) 長江 良明

林野庁採用から36年7月、このうち東北局管内7年7月の間、お世話になった数多くの地域の方々、職場の仲間たちに感謝いたします。過去、何人かの方から、「長江は重たい仕事を楽しそうにやるなあ」と酒席で言われたことがあり、「重たいやつほど味があるんだよ」とほくそ笑んでいました。退職なので吐露しておきます。ああ面白かった!

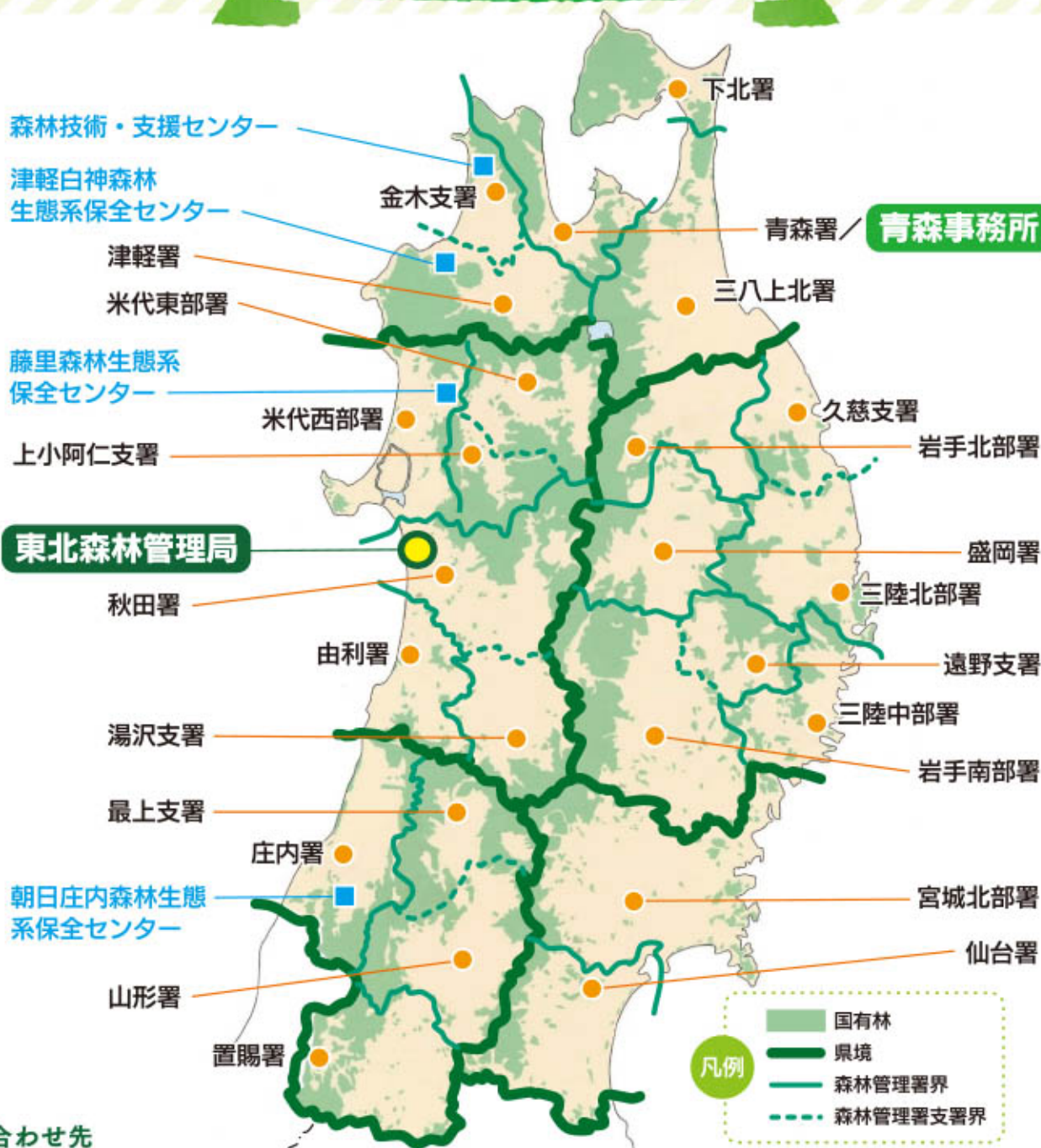
退任10月31日付

前計画課長 富岡 弘一郎

令和2年4月に着任し2年7ヶ月間、皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。在職中は、森林計画の作成、白神世界遺産地域の対応、保護林や緑の回廊に係る案件、希少種保護の対応など幅広い貴重な経験を積むことができました。今後ともこの経験を糧として取組を進めて参りますので、引き続きよろしくお願いたします。

# 東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



## 問い合わせ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中込3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551		秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311			
岩手県	津軽白神センター	西津軽郡大野川町大字瀬戸町東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	山形県	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076		最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川1200-11	☎0233-62-2122
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤里字大間添24-3	☎0185-79-1003	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
	三陸北部署	宮古市磯石石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730	
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	福島県	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161			
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161		最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川1200-11	☎0233-62-2122			
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246			
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131							
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670								

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.225 ●発行日/令和4年12月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください  
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために製材材を積極的に使用しています。